※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真 1）（表 1）などと文中に記載し、右ページに（写真 1）（表 1）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 179

【様式２】

エントリー学校名：富山県高岡市立能町小学校

活動名：コロナに負けない学校に！
学校 DX 化で安心＆安全→信頼関係

解決すべき課題：新型コロナウイルス感染拡大により、保護者の感染リスクに関する学校生活への不安や、休校による学力低下への懸念が高まっている。学校では、休校中の授業の遅れを取り戻しつつ、新学習指導要領の目指す教育の実現に向けたカリキュラムマネジメントに奮闘している。

こんなときだからこそ、地域や保護者との信頼を深めることが必要と考え、ICT を活用した情報共有と業務の軽減を目指した学校 DX（デジタルトランスフォーメーション）化の取組を進めた。

目標・方針：①休校中：HP（ホームページ）や緊急メール等を通じて、学校の感染予防対策を明確に示し、それを着実に実行することで保護者の信頼を得る。②学校再開に向けて：子供たちを学校とつなぐ、温かいメッセージを発信する。③学校再開後：子供たちが感染予防を心掛けながら楽しい学校生活を築くことを支援し、いきいきと活動する姿を地域や保護者に発信する。④これらを通して、教師の危機対応力、情報発信力、授業力の向上を目指した研修会を行い、その取組や成果を HP やファイル共有を通して、市内の学校や地域に広く公開する。

活動内容：これまで、学校からの印刷資料の一斉配付に頼っていた家庭との連絡をモノの移動を伴わないデジタルに移行した。今後は緊急メールでの連絡がメインになることを保護者に周知し、加入率 100%を目指して緊急メールへの登録を促した。休校中の課題配付等の連絡をメール配信し、HP に誘導し、本校教諭による授業動画や校長を始めとした教職員からのメッセージを次々と発信していった。5 月末からの分散登校が決まった段階で各学年からのメッセージを動画配信し、子供たちの期待感を高めた。感染拡大防止策については HP 上で積極的に公開し、地域や保護者の安心感を醸成することに努めた。保護者の来校が難しい時期には HP 配信に加え、Zoom を活用した全校授業参観を行い、子供たちの活動の様子を伝えた。その成果と課題も HP で公開した。本市では、10 月に児童用と同じ型の GIGA 端末が担任分配付され、クラウドを使用することになっている。まずは教師が日常的に活用し、授業での活用につなげていきたい。

活動の成果：ICT 技術を使って情報を効率的に共有する手法を開発・活用
①緊急メール加入促進、オンライン健康観察…100%の加入率達成、Google フォーム活用による自動化
②授業動画配信、学校メッセージ…学校評価アンケートでの「学校が楽しいと言っている」92%
③Zoom 研修会→オンライン授業参観…保護者への事後アンケートで「次回も参加したい」92.6%
④Microsoft365 活用研修…まずは教師が使いこなす。クラウド職員室の構築を目指している。

アピールポイント（アイディアや工夫）：有効性の体験から利活用につなげる
①必要性を訴えるのではなく、便利・安心・簡単を体験してもらうことでネットワーク利活用を促進した。
②緊急メールから HP に誘導し、更新の活性化を行うことで HP を学校の情報センターに育てた。
③教師向けの Zoom 研修、保護者向けの練習用会議室の設置、クラウド活用研修等の研修を充実させ、オンライン授業参観を成功させるなど、情報を公開することで保護者の理解を得て、信頼関係を深めた。
④取組の成果について HP での発信や市内での資料共有を進め、学校 DX 化の推進に寄与している。